

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年6月16日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年6月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設淡水化装置(RO3)濃縮水供給ポンプ(A)出口弁のフランジ部からの滴下について】 当社社員が、運転中の既設淡水化装置(RO3)濃縮水供給ポンプ(A)出口弁のフランジ部にあらかじめ取り付けしていた養生袋内に、フランジ部から1秒に1滴の滴下を確認。 そのため、濃縮水供給ポンプ(A)を停止したところ、フランジ部からの滴下は停止。 なお、滴下した水は養生袋内に留まっている。 濃縮水供給ポンプ(B)は運転可能であり、現時点で既設淡水化装置(RO3)の運転に影響はない。 今後、当該フランジ部を点検、修理を予定。</p>	GⅢ	6月8日
2	<p>【メール誤送信による個人情報の漏えいについて】 当社社員が、協力企業の担当者より、その内容から受信対象外のメールを受信した旨の連絡を受けた。 調査の結果、社内の担当者へメールを送信すべきところ、同姓同名の協力企業社員を宛先に選択し、誤送信したものと判明。 送信メールには社外組織の名簿が添付されており、協力企業へ個人情報が漏えいしたものと判断。 協力企業へはメール削除を依頼し、削除完了の報告を受けており、個人情報漏えいによる影響は出ていない。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	6月13日